

JICA駒ヶ根 駒ヶ根訓練所開設40周年記念イベント

6月22日(土)  
「ヤッサプレ」を食べて  
協力隊員と話そう



40周年記念として「食」のイベントを開催する。会場では、セネガルの料理「ヤッサプレ」を食べながら、セネガルに派遣された青年海外協力隊経験者と話をすることができる。ヤッサプレとは鶏肉と玉ネギを使ったもので、白いご飯にかけて食べるセネガルの国民的料理だ。セネガル出身の訓練所スタッフのレシピをもとに食堂の調理員が本場の味を忠実に再現する。

●エスニック・ランチ「セネガル料理を食べよう！」  
日時：2019年6月22日(土) 12:00～13:30  
会場：駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
長野県駒ヶ根市赤穂15



参加費600円、要事前申し込み、定員40名(先着順)。  
詳細はJICA駒ヶ根まで。

6月14日(金)～21日(金)  
JICA海外協力隊が見た世界



記念イベントとして、JICA海外協力隊員が10か国以上の派遣先で撮影した写真を展示する。途上国の生活の様子に世界の多様性を感じ、子どもたちの人懐こい笑顔に思わずこちらも笑顔になれる。長野県にゆかりのあるJICA海外協力隊員が現地の活動を紹介します。パネルも展示する。

●写真展「JICA海外協力隊員が見た景色や出会った人びと」  
会期：2019年6月14日(金)～21日(金) 10:00～20:00  
初日は12:00開場、最終日は16:00閉場  
会場：ステーションビルMIDORI長野3階  
「りんごのひろば」  
長野県長野市南千歳1-22-6



入場無料、事前申し込み不要。詳細はJICA駒ヶ根まで。

JICA地球ひろば(市ヶ谷) 6月22日(土)  
世界に笑いを届ける  
パフォーマンスショー



劇団WAHAHA本舗所属のコメディ・パフォーマンス・グループ「3ガガヘッズ」と地球ひろばとのコラボ企画の第2弾! 家族そろって楽しめるサイレント芸のパフォーマンスのほか、世界32か国で1,000回以上の公演を行ってきたメンバーが、海外ツアー先でのエピソードトークを披露する。

●3ガガヘッズ THE BODY TIGHTS MEN SHOW  
—笑顔で繋がる世界 Vol.2—  
日時：2019年6月22日(土) 14:00～15:30  
会場：JICA市ヶ谷ビル2階 国際会議場  
東京都新宿区市谷本村町10-5



入場無料、要事前申し込み、定員100名(先着順)。  
詳細はJICA地球ひろばまで。

JICA中国(広島)

6月4日(火)～17日(月)  
「食」から難民問題を考える



ひろしま国際プラザ内レストラン「ラコルト」では、6月20日の「世界難民の日」を前に、難民問題を考えるきっかけとなるフェアを開催する。期間中は、バイキングメニューの一品として、パキスタンやスリランカ、エチオピアなど難民が多く発生している国の料理を日替わりで提供する。レストラン内には、日本国内で難民支援を行うNPOへの募金箱を置くほか、レストラン前には難民に関する展示コーナーも設け、身近な「食」から難民問題を知ることができる。

●「Meal for Refugee  
—難民の故郷の味—」フェア  
会期：2019年6月4日(火)～17日(月)  
ランチ 12:00～13:30  
ディナー 18:00～20:00  
(ラストオーダー30分前まで)  
会場：ひろしま国際プラザレストラン  
「ラコルト」  
広島県東広島市鏡山3-3-1  
予約不要。詳細はJICA中国まで。

アフリカ開発会議(TICAD7)の関連イベントを開催する。会場では、JICAアフリカ部の部長や、ガーナで起業した元JICA海外協力隊員、神戸で学ぶアフリカからの留学生、日本でアフリカの事業展開を行う企業が一堂に会し講演を行う。JICAがアフリカで展開する事業を知り、アフリカに対する理解を深めることができる。

●まるかじり! アフリカ入門—TICAD7パートナー事業—  
日時：2019年6月14日(金) 13:00～16:00  
会場：TKP神戸三宮カンファレンスセンター  
兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12  
三宮ビル東館5階



申し込み  
詳細はこちら

入場無料、要事前申し込み。  
詳細はJICA関西まで。



JICA関西

6月14日(金)  
開発が進む  
アフリカの「今」を知る

●難民を知る2019  
～国境を超える、スポーツの絆～  
日時：2019年6月22日(土)  
13:30～16:30(開場13:00)  
会場：札幌国際交流館ライラックホール  
(リフレサッポロ)  
北海道札幌市白石区本通  
16丁目南4-26

入場無料、要事前申し込み。JICA北海道(札幌)のレストランカフェ「地球こうさてん」では、イベントとコラボした世界各国の料理も味わえる。詳細はJICA北海道(札幌)まで。

申し込み  
詳細はこちら



JICA北海道(札幌)

6月22日(土)  
スポーツによる難民支援



©Thelma/Louise

6月20日の「世界難民の日」とTICAD7に関連したイベントを開催。会場では、スポーツによる難民の社会共生をテーマにしたドキュメンタリー『ナイス・ピープル』を上映するほか、ブルキナファソで野球の五輪代表チームの監督を務める出合祐太さんやJICA南スーダン事務所長、国連UNHCR協会の職員を招き、スポーツと国際協力のあり方について鼎談を行う。また、アフリカの雑貨やパンの販売、難民アスリートのパネル展も開催する。スポーツを軸に難民問題について考える一日。



渋谷教志著、新泉社  
2000円(税別)

「人々の夢を、技術でつなぐ建設コンサルタント」  
建設コンサルタントは、戦後復興からインフラの大規模整備が必要となる時代に、調査から運営・維持管理まで、それぞれの段階で品質を保つ役割が求められて誕生した。今では国内外で道路や鉄道、港湾、空港など私たちの経済活動や安全・安心な生活に不可欠な存在となっている。  
本書は、JICAとともにスリランカのマンムナイ橋の建設事業も担った「長大」が、自社で手掛けた仕事内容や国内外のさまざまな事例を紹介している。建設コンサルタントという職業や業界について理解を深めてほしいとの考えから制作され、写真や漫画、イラストを豊富に使い、業界以外の人にも読みやすく分かりやすい内容となっている。  
インフラ整備の切り口から国際協力を考えたい学生や、その家族にもお薦めの一冊。

『まなざしが  
出会う場所へ  
—越境する  
—写真家として生きる』  
今月号の「地球ギャラリー」を担当した写真家の渋谷教志さんは、アフリカやアジア、東日本大震災後の福島など、世界各地の紛争、飢餓、児童労働災害の現場を26年かけて巡る中で、人びとが人権を奪われ、過酷な生活を強いられる現実を目の当たりにしてきた。本書は、渋谷さんが自らの来歴をふり振り返りながら、なぜ困難を生きる人びとを撮るのかを自分に問い、葛藤する思いを綴ったボルタージュだ。  
全編を貫くのは、困難を生きる人びとと分かり合えないことに苦悩しながらも、カメラを介して被写体とつながろうとする著者の真摯な姿勢だ。率直に綴られたレポートと、相手のまなざしと向き合った写真が、不条理の中で生きる人びとの姿をいきいきと写し出している。  
ポーターレスといながらも格差が広がる時代に私たちはどう生きるのか。目の前の相手と対話し、その境遇に思いを巡らせようと試みる著者の姿勢からそのヒントを得ることができる。

